

## 栃木県立宇都宮高等学校 天文部の活動報告

月	報告欄	チェック欄		
		休養日	教頭	校長
4月				
5月				
6月	○21日部分日食16:11～、好天であれば観測会（天候不良のため実施できず）			
7月	○10日金星最大光度(-4.5等)明けの明星、好天の朝観測会（各自） ○木星観測好機14日衝（最大光度-2.8等）（各自）			
8月	○夕方エンケ彗星観測可能西空低く南に移動（7等級～）（天候不良のため観測できず）			
9月				
10月	○2日水星が東方最大離角（光度+0.1等）、好天の夕方観測会（天候不良のため観測できず） ○6日火星最接近（光度-2.6等）各自夜中に観測（各自実施）			
11月	○11日水星西方最大離角（光度-0.6等）（各自）			
12月	次年度に向けた準備（観測機器の充実等）			
1月	次年度に向けた準備（観測機器の充実等）			
2月	次年度に向けた準備（観測機器の充実等）			
3月	次年度に向けた準備（観測機器の充実等）			
年間を通じた反省	<p>コロナ禍において、望遠鏡を使用した観測で深夜にまで及び天体現象の観測は不可能な状態であった。</p> <p>その中で、部員達は試行錯誤を続け、本による観測技術の習得や部員増のために双眼鏡を購入する等工夫してきた。</p> <p>本年度は火星の大接近を除いては、目立った天体現象はなく、寂しい年であったが、少しでも天体に興味を持ち、実際に自分で望遠鏡や双眼鏡で観測できることを目標に準備を進めていきたい。</p>			